

当地域の景気動向

(2020年7月17日現在)

各調査機関が発表している当地域の景気動向をまとめました。

最近の管内総合経済動向（中部経済産業局）

<http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/doko.html>

(7月公表要旨)

- 【生産】 大幅に減少している。
 - 【個人消費】 弱まっている。
 - 【設備投資】 増加しているものの、伸びは鈍化している。
 - 【公共投資】 弱い動きとなっている。
 - 【住宅投資】 弱い動きとなっている。
 - 【輸出】 大幅に減少している。
 - 【雇用】 労働需給の引き締まりが緩和している。
- このように、管内の経済活動は、悪化している。

あいち経済の動き（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000087453.html>

(6月公表 報告書4月)

- 【生産】 鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比16.0%の減少
- 【投資(設備投資)】 金属工作機械総受注高は、前年比47.6%の減少
- 【投資(住宅建設)】 新設住宅の月間着工戸数は、前年比24.2%の増加
- 【個人消費】 百貨店・スーパー販売額は、前年比16.3%の減少
- 【雇用】 有効求人倍率は、1.44倍
- 【貿易(輸出)】 名目輸出額は、前年比32.4%の減少
- 【投資(公共工事)】 公共工事の月間請負金額は、前年比22.4%の減少
- 【貿易(輸入)】 名目輸入額は、前年比2.2%の増加
- 【企業(倒産)】 月間倒産件数は、前年比55.9%の増加
- 【金融】 貸出残高は、前年比17.4%の増加
- 【物価(企業)】 企業物価指数は、前年比2.3%の減少
- 【物価(消費者)】 名古屋市消費者物価指数は、前年比同水準

愛知県経済の現状と見通し（(株)三十三総研）

https://www.miebank.co.jp/33ir/research/aichi_keizaijyousei.html

(6月公表要旨)

- 【景気の現状】 厳しい状況にある
- 【当面の見通し】 極めて厳しい状況が続く見通し
- 【個人消費】 減少している
- 【雇用】 弱めの動きが広がっている
- 【住宅投資】 弱含んでいる
- 【企業活動】 大幅に減少している
- 【企業倒産】 増加傾向にある
- 【輸出】 大幅に減少している
- 【公共投資】 概ね横這い

東海3県の金融経済動向（日本銀行名古屋支店）

<http://www3.boj.or.jp/nagoya/kouhyou/getsurei.html>

（7月公表要旨）

東海3県の景気は、厳しい状態が続くなかでも、改善に向けた動きがみられ始めている。

【輸出】	弱い動きが続くなか、持ち直しに向けた動きもみられている
【設備投資】	増勢が鈍化している
【個人消費】	持ち直しの動きがみられている
【住宅投資】	弱い動きとなっている
【公共投資】	高めの水準で推移している
【生産】	弱い動きが続くなか、持ち直しに向けた動きもみられている
【雇用・所得】	弱めの動きがみられている
【物価】	前年を下回っている
【貸出】	運転資金需要を背景に、前年を大幅に上回っている
【貸出金利】	引き続き低下傾向にある
【預金】	高い伸びとなっている

景況レポート（いちい信金）

<http://www.shinkin.co.jp/ichii/keikyo.html>

（2020年7月発行）

今期（4～6月）の実績見込み

業種別でみると、全ての業種で下降となった。

来期（7～9月）の見通し

業種別でみると、不動産業は下降、それ以外の業種は改善する見通しである。

中小企業景況調査（愛知県商工会連合会）

（4月～6月期実績、7月～9月期見通し）

産業全体のすべて指標が5期連続で低下

今期の産業全体の景況は、売上額DIが $\Delta 77.6$ 、採算DIが $\Delta 65.6$ 、資金繰りDIが $\Delta 50.9$ となり、対前期比でそれぞれ、39.4ポイント、29.1ポイント、23.2ポイント減少し、すべての指標で5期連続低下した。

産業別では、製造業の採算DIの低下、サービス業の売上額DIの低下が目立つ結果となった。

次期は、採算DIが好転、売上額DI、資金繰りDIの指標が低下する見通しである。